

No.	意見の要旨	対応方針（案）
1	<p>「文化施設」として討議されるのが、武蔵野市民文化会館、武蔵野市公会堂、武蔵野芸能劇場、武蔵野スイングホール、吉祥寺美術館、松露庵、吉祥寺シアター、かたらいの道市民スペース、の8施設だけで良いのか。</p> <p>まず、「文化施設」とは何かの検討から始めるべきで、更にその「在り方」（どのように連携・協力したらよいか）等について、討議がなされるべきであり、個々施設についてあれこれ言うだけでは物足りない。</p>	<p>広い意味での文化施設が、今回検討対象とした8施設にとどまらないという指摘については、同感です。</p> <p>そうした施設も含めて、活かし、連携することにより、市は文化振興に取り組むべきであると、「武蔵野市文化振興基本方針」では定めています。</p> <p>ただし、市は、本委員会における検討内容を受け、公共施設等総合管理計画における類型別施設整備計画を策定すると聞いています。そのため、「劇場・ホール・文化・集会施設」として位置付けられた8つの施設を、本委員会における議論の対象と定めたものです。</p>
2	<p>中間まとめの冒頭に、武蔵野市の文化施設は周囲の自治体と比べ多い、とあるが、本当に市民のニーズに対して答えられる施設があるか？ということ熟慮すべきではないか。</p> <p>武蔵野市を地盤として地元から創造される文化を発信する、制作の場を提供することができる文化施設がどれだけあるか。数は多くても、機能的にはまだまだ足りないというのが現状ではないか。</p>	<p>施設数の比較だけでなく、既存の施設を基本方針に基づきレビューをした上で、これからの文化施設に求められる機能をまとめました。その上で、当面の文化施設の活用や、今後迎える全市的施設の再編にあたって、文化施設にこれらの機能を担わせていく必要があるとしています。</p>
2	<p>文化施設の有効活用にやはりアートディレクターの存在は不可欠ではないか。施設のことを論議するのであれば、施設を活かす人材の在り方も論議し、行政がそのことをしっかり理解する必要がある。</p>	<p>本委員会では、主に貸館事業が主体となっている施設について、文化施設としての特色が見えにくく、文化施設としての市民の認知度が低くなっていることを課題として指摘しています。</p> <p><u>当面の文化施設の活用等において、貸館についても文化活動としての方向付けを検討していく必要があることを加筆しました。</u></p>
2	<p>人材、施設の有効活用という意味では武蔵野市にキャンパスのある4(5)大学との連携も視野に入れた方がよいのではないか。</p>	<p>レビューの視点とした文化振興基本方針では、連携のための体制として、作家・アーティスト、市民・市民団体はもちろん、教育機関、民間企業等を含めて想定しており、ご指摘の大学との連携も含まれていると考えます。</p>
2	<p>武蔵野公会堂については、現在民間の力が活用されている、全国的にも良い例を参考に新しい吉祥寺の魅力を発信できる文化施設として生まれ変わって欲しい。子供達と将来を作り上げられる文化の制作の場として生まれ変わって欲しい。</p>	<p>これからの文化施設に求められる機能として、第六期長期計画が目指すべき姿を実現していくための施設として、未来ある子どもたちの可能性を引き出す機能が必要であることを述べています。</p>
3	<p>文化施設は市民生活に欠かせないものでもあるので、施設の在り方だけを検討するのではなく、まちづくりを含めた検討が必要である。ちょうどいま、「武蔵野市都市計画マスタープラン」等とぜひともリンクさせて検討していただきたい。</p>	<p>本委員会としても、文化施設に求められる機能は、まちの将来像や都市戦略と直結すると考えています。この考え方は、本委員会における検討内容を受けて策定される類型別施設整備計画の策定や、今後の検討においても引き継がれるよう、市に伝えてまいります。</p>
3	<p>市内各駅に、性格の異なる文化施設が配されていることは他の市にはない魅力である。しかしながら、それぞれの施設が点の場面でしか機能していない。P30「第五の点」で触れられている、8つの文化施設の機能的連携は急務である。また、8つの文化施設だけでなく、各図書館などの他施設もまじえた総合的な文化企画の展開が行われるようになるとよい。</p>	<p>文化施設相互の機能的連携については、本委員会としても必要なことと考えています。</p> <p>また、レビューの視点とした文化振興基本方針では、連携のための体制として、作家・アーティスト、市民・市民団体はもちろん、教育機関、民間企業等を含めて想定しており、ご指摘の図書館等との連携も含まれていると考えます。</p>

No.	意見の要旨	対応方針（案）
3 8	公会堂の改修が可能となった場合には、ぜひ駅近という利点を活かした文化施設として生まれ変わることを希望する。大人数が利用できる広いリハーサル室が併設されれば、災害時の他、緊急時の施設としても利用できるだろう。	公会堂については、本委員会がまとめるこれからの文化施設に求められる機能を踏まえつつ、施設周辺全体のまちづくりと整合性を図りつつ総合的に検討・評価を行っていく必要があると述べています。
3 9	昨年市が購入した旧赤星邸の活用については、ぜひ文化施設に加えて活用を検討していただきたい。	本委員会の検討対象は、現時点で（公財）武蔵野文化事業団を指定管理者としている8つの文化施設です。ご意見として、市に引き継ぎます。
4 10	武蔵野市の商業など産業振興での成功は、吉祥寺を中心とした武蔵野市の高い文化イメージの恩恵によるところが大きいことは、きちんと広く認識されなければならない。武蔵野市の文化イメージを高める文化施設が存在が、武蔵野市や吉祥寺のブランド価値を向上させ、経済や税収の向上に寄与するとの自覚が、「文化施設の在り方検討」においても必要である。	これからの文化施設に求められる機能として、第六期長期計画が目指すべき姿を実現していくための施設として、まちの魅力を継続するための方策として、来街者を維持し、回遊を誘導するような機能が必要であることを述べています。
4 11	武蔵野市は、苦手意識にとらわれずに「文化」の経済効果も含めて大局的に把握し、地域に対して「優れた文化施設」を核とすることで、「文化的イメージによる高いブランド力」を提供する役割がある。	これからの文化施設に求められる機能として、第六期長期計画が目指すべき姿を実現していくための施設として、まちの魅力を継続するための方策として、来街者を維持し、回遊を誘導するような機能が必要であることを述べています。
4 12	武蔵野市の経済に貢献している「文化的イメージによる高いブランド力」を保つためにも、短期的なビジネスの「声」に引き摺られず、武蔵野市のブランドイメージの核となるような長期的で高いレベルの文化施設の計画が必要である。特に武蔵野公会堂については、今後長い将来の武蔵野市、特に吉祥寺のブランド力の核となることを自覚して、内外にとって素晴らしい文化施設となるように計画していただきたい。	本委員会としては、これからの文化施設に求められる機能を、第六期長期計画が目指すべき姿との関係から、文化施設による来街者維持や回遊の誘導することも含めた五つの点にまとめています。公会堂についても、それらの機能を踏まえ、今後、総合的に検討・評価を行っていく必要があると述べています。
5 13	吉祥寺美術館は、独立した美術館の建設を近々に本格的に検討して欲しい。武蔵野市は財政的にも、市民の文化への関心度からも、独立した館があって然るべきである。収蔵庫は、同じ建物、もしくはすぐ近くにあることが望ましい。展示スペースについても、沢山の作品が見られて有難い反面、安全上の不安を感じる。	収蔵庫が美術館近接に設置できていないことは課題として指摘しています。展示スペースについては、狭さはあるものの、気軽に観覧できる規模を活かした展示がなされていることを評価もしています。
5 14	吉祥寺美術館は、コレクションを持つ美術館である以上、作品の経年変化を管理するには同じ人間が見て行くことが必要である。	令和2年度より、文化事業団では学芸員1名を無期雇用としたと聞いています。当該職員を核に、地域連携や、市所蔵作品等の研究等も進めていけるものと考えています。
6 15	武蔵野市の文化施設は公共の文化施設として、8施設が連動し総合的に有効活用ができる仕組み（利用申し込みなど事務手続き含め）の検討をお願いします。	文化施設相互の機能的連携については、本委員会としても必要なことと考えています。利用申込等は、8施設統一のシステムが既に構築されていますが、さらなる有効活用のための仕組みづくりについて、市に引き継ぎます。
6 16	武蔵野公会堂は、武蔵野市文化振興基本方針の先駆的・象徴的な文化施設として再生することの検討をお願いします。具体的には、子どもの芸術文化への興味関心を広げ、芸術文化の重要性を学ぶことのできる機能を有するセンターを併設した文化施設を希望する。	公会堂については、本委員会がまとめるこれからの文化施設に求められる機能を踏まえつつ、施設周辺全体のまちづくりと整合性を図りつつ総合的に検討・評価を行っていく必要があると述べています。

No.	意見の要旨	対応方針（案）
7 17	武蔵野市の文化施設は展示・音楽・演劇ばかり。科学・ものづくりの施設がない。少なくとも学校の理科室・美術室・技術室程度のことができる施設があってもよいのではないか。土地の利用がほぼ住宅という武蔵野市の中で工作機械を使うのはよほどでなければ無理。	これからの文化施設に求められる機能として、第六期長期計画が目指すべき姿を実現していくための施設として、未来ある子どもたちの可能性を引き出す機能が必要であることを述べています。現行の施設では十分に役割が果たせない場合、より新しい機能を持たせた施設を検討していく必要があるとしています。具体的なご提案については、市に引き継ぎます。
7 18	各館の休館日、開館時間が載っているが8か所全部ではない。個別レビューに載せてはいかがか。	当該資料は、劇場・ホールを対象としているため、吉祥寺美術館、松露庵、かたらいの道市民スペースが対象外となっています。最終報告書では、 <u>各施設のレビューに使用した詳細資料（休館日、開館時間を含む）を巻末資料として掲載します。</u>
7 19	個別施設レビューに収支も載せてはいかがか。収支だけで文化施設の価値を評価するものではないが、収支もその一つではないか。	<u>各施設のレビューに使用した詳細資料（収支を含む）を巻末資料として掲載します。</u>
7 20	音楽室がいくつかあるが、バンド練習ができるようにしてはいかがか。レコーディングもできるといい。武蔵野市にはスタジオが少ない。	現行の施設では、本格的なバンド練習までは、音漏れもあり難しいところです。当面の文化施設の活用として、公会堂の改修に合わせて、音の出せる活動場所を設けることを提案しています。
7 21	市民文化会館に会議室があるのが分からない。すぐ近くに中央コミセンがある。もうちょっと行けばかたらいもある。	現在は、ホール利用のための打ち合わせや、ホールで行われるコンクールの審査などに使われています。 <u>会議室等として、市民文化会館の会議室も加筆し、今後さらに、芸術文化的な活動に利用しやすくなるような設えの検討を提案しています。</u>
7 22	美術館に音楽室があるのが分からない。公会堂に会議室をたくさん作るのではなくちゃんとした音楽室やスタジオがあったほうがいいのではないか。	現在の吉祥寺美術館の場所は、以前は音楽室を含めた市民ホールであったと聞いています。平成14年に、音楽室を残し会議室部分を改装し、吉祥寺美術館として開館しました。音楽室は、基本方針に基づくレビューにおいて、市民の文化活動の場所の一つとなっていることを評価しつつ、制限の多さを課題として挙げています。これを踏まえ、当面の文化施設の活用として、公会堂の改修に合わせて、音の出せる活動場所を設けることを提案しています。
7 23	近くに中央コミセン・西久保コミセン・芸能劇場というスペースがあるのに、かたらいがある意味が分からない。	かたらいの道市民スペースは、平成22年に、三鷹駅北口の駅前大型マンションの建設に際し、市に提供された公共スペースです。かたらいの道市民スペースを含む会議室としての需要は、生涯学習や市民活動の視点も含めて全体的な整理を行う必要があるとしています。
7 24	かたらいの道市民スペースには、スタッフは常駐しているのか。コミセンの分館のように無人で運営できないか。	かたらいの道市民スペースには、指定管理者が委託した窓口スタッフ1名が常駐しています。コミセン分館と比較すると利用率が高いため、現在の設えのまま、利用がある際のみ対応するという、コミセン分館同様の運営は難しいと思われます。
7 25	文書自動発行機もかたらいの道市民スペースにある必要はない。	かたらいの道市民スペースには、住民票や印鑑証明等の、証明書自動交付機が設置されています。ご意見として承り、証明書自動交付機の主管課に伝えます。

No.	意見の要旨	対応方針（案）
7 26	文化振興基本方針への意見になるかもしれませんが、方針5にある「芸術文化のあり方」というものがあっていいのでしょうか。「芸術文化」と「あり方」という考え方は相容れないものじゃないでしょうか。自由だと思のですが。	基本方針に対してのご意見ではありますが、本委員会としては、「あり方」を決めるということではなく、誰もが自分事として、文化にどう関わっていきたいかを考えられるような機会を、行政が作っていくことを目指している方針と捉えています。
7 27	パイプオルガンスクールをやっても知名度は今一なのか。なかなかできない面白い体験だと思う。	平成30年度から開始した事業と聞いています。さらなる認知度向上、市民にとって一過性でない事業になっていくような工夫を期待したいと考えています。
7 28	いつしか年末と言えば第九となったように、何かパイプオルガンをメジャーにできることはないでしょうか。＜知名度	パイプオルガンスクール等を通じ、さらなる認知度向上、市民にとって一過性でない事業になっていくような工夫を期待したいと考えています。
7 29	武蔵野市は施設の複合化を進めるようですが、市民の生き方は逆に多様化・専門化しています。コミュニティ構想ができた画一的だった時代じゃなくなりました。多目的な施設を作る一方で専門性のある施設や組み合わせへの流れがあってもいいと思います。	現在の吉祥寺美術館の場所は、以前は音楽室を含めた市民ホールであったと聞いています。平成14年に、音楽室を残し会議しつつ部分を改装し、吉祥寺美術館として開館しました。音楽室は、基本方針に基づくレビューにおいて、市民の文化活動の場所の一つとなっていることを評価しつつ、制限の多さを課題として挙げています。一方、美術館については、今後、移転や改修が望める場合には、美術館として必要な取組みを前提として、施設の検討を行う必要があると考えています。
7 30	松露庵について、1つ目の●で駅から遠いとあるが、逆に駅近でこの施設は無理なのではないか。	ご意見として承ります。
7 31	松露庵は他にない特徴的な施設である。庭園と一体になってとありますが、隣の古瀬公園も含めて雰囲気を作り出していると思うので書き加えてもらいたい。	<u>ご意見を踏まえ、「古瀬公園も含めて」と加筆しました。</u>
7 32	マスメディアに取り上げられてるから優れた芸術文化だと読み取れます。優れているかどうかはメディアが決めることじゃないと思います。	メディアが優劣を決めることではないということは同感です。そのことを踏まえた上で、本委員会では、数値で表すことが出来る指標の一つとして、これまでの実績をレビューしました。
7 33	第二段落の最後の文でいきなりICTが出てきてビックリしました。	ご意見として承ります。
7 34	ICT技術とありますが、ICTのTは技術です。	<u>ご指摘を踏まえ修正しました。</u>
7 35	「併設されている会議室ならではのシナジー効果」は本当にあるのでしょうか。三鷹市では児童館が多世代交流センターとなり、児童館と社会教育施設の複合化がなされました。両施設のコラボレーション企画などがあるようで、シナジー効果があるのかなと想像します。会議室と文化芸術施設とではどうでしょうか。	ホールの利用団体同士が併設の会議室で合同企画の打ち合わせを行ったり、ホールの公演に合わせて座学の勉強会を企画するなどを想定しています。

No.	意見の要旨	対応方針（案）
7	36 会議室にはWi-Fiを導入してはいかがか。	会議室単体としてではなく、文化施設として、ICTの活用の有効性を述べています。
8	37 アマチュア団体や稽古事の発表での利用が多いことが推測され、芸術文化活動(主に発表)の場となっている。」とあるが、公会堂は市民文化会館と比べ楽屋が満足でなく、防音のリハーサル室がないためプロはあまり利用できないからではないかと思う。仮に、今後施設の改修等でそれらの改善ができたとしたら、プロの利用が増え、アマチュア団体や稽古事の発表が今まで通り利用できなくなるかもしれない。その場合、武蔵野公会堂は芸術文化活動の場として弱くならないよう配慮をお願いしたい。	当面の文化施設の活用として、音楽ホールについては、現在なされている一定のすみ分けのもと、必要に応じて施設の機能更新を図ることが望ましいとしています。 公会堂については、施設の更新や延命化を選択肢として挙げており、今後の総合的な検討・評価において参考にすべき意見として、市に伝えてまいります。
8	38 課題となっているポイントの2つ目の「芸術文化プログラム」、確かに知りませんでした。	本委員会では、芸能劇場の課題として指摘するとともに、他の貸館事業が主体となっている施設も含めて、文化施設としての市民の認知度が低いことを課題として指摘しています。
8	39 スカイルームとレインボーサロンは防音でない、楽屋(控室)がない、ピアノがない、暗幕がない、ステージがない等の理由で芸術文化に関する活動の場としての利用が少ないのだと思う(特に音楽)。せめて防音でピアノがあれば、大人数の合唱団の練習や、オーケストラの練習に使用でき、芸術文化に関する活動の場としての利用率が爆上げすると思う。特に、武蔵境駅圏では市民会館の集会室がオケの練習に使用できなくなってしまったので、市内で活動するアマチュア楽団の活動の支えにもなり、助かると思います。	大規模な合唱団や楽団によるリハーサル等に使える場所が無いことは、全市的施設としての市民文化会館の課題として指摘しています。 大規模な改修については、費用面での検討も必要となるため、全市的的文化施設の再編において検討するよう市に引き継ぎます。
8	40 正規雇用の学芸員を増やし、武蔵野市の芸術文化について継続的に研究を進めるべきである。	令和2年度より、文化事業団では学芸員1名を無期雇用としたと聞いています。当該職員を核に、地域連携や、市所蔵作品等の研究等も進めていけるものと考えています。
8	41 課題になっているポイントすべて、松露庵については「個性」ととらえることはできないか。駅からは遠いけれど、そのかわり緑が豊かで鳥も鳴き、環境が良い。公共施設としてバリアフリー化を無視できないのは理解できるが、建物の雰囲気を壊さない程度のバリアフリーにとどめ、足りない部分は人が介助することで解決する、そんな施設が一つぐらいあってもいい。誰でもトイレは、松露庵内は無理でも、古瀬公園内に作ることはできる(ないよりはまし)。	レビューとしては課題として指摘しましたが、解決にあたっては、ご意見を参考に検討するよう、市に引き継ぎます。
8	42 かたらいの道市民スペースは自然光が入ってこないという強みを活かして、個展が開けるギャラリーとしての活用はできないか。ライディングレール・小型スポット・ピックアップレールを設置し、壁や床の雰囲気を整えたら、すぐにもギャラリースペースとして芸術文化に関する活動の場になると思う。	かたらいの道市民スペースには、展示用パネル、カットワイヤー、ワイヤー用フック等、展示のための附属設備を備えており、また、展示利用の場合の施設使用料の割引制度もあります。さらに芸術文化的な活動にも利用しやすくなるように、必要な備品や制度について検討するよう提案しています。

No.	意見の要旨	対応方針（案）
8 43	「調布市国際音楽祭」「けやき音楽祭JAZZ in FUCHU」のような全市民的な音楽祭があると、市内で活動する団体を知る機会ができ、交流が生まれやすくなり、芸術文化の活性化につながるのではないかと思います。残念ながら現在の「市民文化祭」は小規模な発表会となっており、観客も出演者の身内ばかりで広がりがありません。	武蔵野市においても、吉祥寺音楽祭や武蔵境ジャズセッション等の音楽祭が開催されていますが、文化施設の課題として、文化施設として施設貸以外の関わりが持っておらず、文化施設としての市民の認知度が低いことを指摘しています。 <u>当面の文化施設の活用等において、貸館についても文化活動としての方向付けを検討していく必要があることを加筆しました。</u>
8 44	アマチュア団体が無料または格安で使える「楽器や発声を伴う活動のできる」稽古場が少なすぎます。コミセンや市民会館、学校施設開放に頼っているのが現状ですが、コロナ禍で学校施設は使えなくなり、コミセンや市民会館も音量の苦情が入るとすぐ使えなくなってしまいます。芸術文化活動の下支えになりますので、ぜひ、楽器や発声が気兼ねなくできる稽古場を増やしてください。	当面の文化施設の活用として、公会堂の改修に合わせて、音の出せる活動場所を設けることを提案しています。
8 45	市内で活動し、何らかの形で補助金をもらったり、施設利用に際して優遇を受けている団体は多いが、芸術文化施策に興味を持ち、積極的に関わろうという団体はどのぐらいあるだろうか。市内活動団体は、市の芸術文化施策に対して自分事として意識し関心を持つべきだと思う。	本委員会としては、基本方針の方針5として、誰もが自分事として、文化にどう関わっていきたいかを考えられるような機会を、行政が作っていくことを目指していると捉えています。
8 46	第四の点に、武蔵野公会堂の改修で心配している点(再開発による地下高騰→まちの衰退)が書かれていてよかった。	公会堂については、第四の点も含めたこれからの文化施設に求められる機能を踏まえ、今後、総合的に検討・評価を行っていく必要があると述べています。
8 47	「文化施設の中に併設されている会議室ならではのシナジー効果を生み出す利用方法等」の部分の意味がよくわからなかった。市民文化会館や武蔵野公会堂に会議室が併設されているが、複数団体が公演を行う際の楽屋代わりに使う程度の利用方法しか浮かばないし、経験がない。	ホールの利用団体同士が併設の会議室で合同企画の打ち合わせを行ったり、ホールの公演に合わせて座学の勉強会を企画するなどを想定しています。
9 48	新たなハード造りについて、今後は慎重に（自然環境の維持）。	ご意見として承ります。
9 49	むさしの市政が、文化、子ども、高齢者、平和など、何に関わるかではなくどのように関わるかが問題です。どの順番であっても順次解決していってほしい	ご意見として承ります。
9 50	文化度を他区市在住の人に評価してもらう必要はなく武蔵野市民にとって、嬉しいものであることが大事	これからも市民が武蔵野市に魅力を感じ続けられるよう、文化を含めたまちの魅力を内外に発信していくことは必要なことと考えています。
9 51	市民の方に限らず、今は、様々な文化に関わり、発表の場を求めている方がたくさんいる（演劇、絵画、写真、手作り作品、歌etc）	ホール等は、鑑賞の場のみならず、発表、実演の場としての役割も果たしていると認識しています。当面の文化施設の活用として、現在なされている一定のすみ分けのもと、必要に応じて施設の機能更新を図ることが望ましいとしています。
9 52	二兎（文化鑑賞後に、消費行動を期待する）を追う必要があるのか	レビューの視点とした文化振興基本方針では、文化による地域の持続的な発展を目標として策定されており、芸術文化の波及効果を重視しています。波及効果の一つとして、経済効果の面での課題を指摘しました。

No.	意見の要旨	対応方針（案）
9 53	無理して、目玉（文化でも店舗でも）を作って来街者を呼び込む必要はあるのか	レビューの視点とした文化振興基本方針では、文化による地域の持続的な発展を目標として策定されており、芸術文化の波及効果を重視しています。波及効果の一つとして、経済効果の面での課題を指摘しました。
9 54	武蔵野市にある文化会館で開催されるから来てくださるというより、良い音楽を安価で鑑賞できることが、大きなメリットで来ている方が多いのが現状の中で、借地をしてまで文化を享受する必要はあるのか（鑑賞できる場所は必要ですが）	借地料の大きさについては課題として指摘しています。全市的文化施設の再編にあたっては、そのことを踏まえた上での検討が必要であると、市に引き継ぎます。
9 55	利用目的があって使いにくければ、現実、時代に沿うように変え、認知度を上げる工夫、アイデアは、ソフト面のがんばりに期待	ご意見として承ります。
9 56	どのような施設でも、バリアフリー、安心、安全は必須	基本方針に基づく各施設のレビュー（方針1）の中で、特に課題のある施設については指摘をしています。
9 57	武蔵野市は、文化人といわれる方が多いかもしれないが、武蔵野市だから住みたいという思いできた方ばかりでもないのでは	本委員会としては、基本方針の方針5として、誰もが自分事として、文化にどう関わっていきたいかを考えられるような機会を、行政が作っていくことを目指していると捉えています。
9 58	今ある建物は、できるだけリノベーションでそれぞれの課題解決を	公会堂については、延命化も選択肢の一つとしています。今後は、耐震性や更新費用等も踏まえ、総合的に検討・評価していく必要があるとしています。
9 59	公会堂については、思うことがいろいろあるが、あの場所が、大型の開発で、渋谷や新宿のような場所になって欲しくない。ウイズコロナで、ハードではなく精神的な繋がりが、大切なのだと認識されているところです。文化は環境も含め生活そのものである。そういう意味も含め公会堂建て替えは慎重に願います。	公会堂については、本委員会としてまとめるこれからの文化施設に求められる機能を踏まえ、今後、総合的に検討・評価を行っていく必要があると述べています。
9 60	発表や練習などの場所については、一般の方のみではなく様々な活動をしている学生、生徒の練習（音楽、スポーツ）にもっと学校施設を活用できるようにすることは出来ないか。	学校施設開放についてのご意見は、事業主管課に伝えます。本委員会としても、当面の文化施設の活用として、公会堂の改修に合わせて、音の出せる活動場所を設けることを提案しています。
9 61	赤星邸を市が手に入れたのは、文化施設を残すことになり、英断だった。	ご意見として承ります。
9 62	市が何かをする際は、情報提供、市民との対話を早めに十分していただくようお願いしておきます。何事にも信頼感が大切です。	ごもっともなご意見だと思いますので、その旨を市に引き継ぎます。